

2月3日：楽観的な見方が広がり続伸

水曜日にベトナム株は上昇を続けた。経済回復に対する明るい見通しが投資家心理をよわらげた。

ホーチミン取引所のVN指数は3.32%高の1,111.29ポイントで取引を終えた。前日火曜日も3.86%上昇していた。

出来高は7億300万株で15.9兆ドンが取り引きされた。

BIDV研究室の研究者によるマクロ経済やGDPに関するレポートが発表された。

新型コロナの感染抑制策やワクチンの配給の進展から2021年の世界経済の回復が予想されている。

それぞれの国は経済刺激策とそれを支持する政策を出し、急速な経済回復を始めるだろうと同社は予想する。

楽観的なシナリオでは、ベトナムのGDP成長率は7.5-8%を記録すると予想している。中でも成長を牽引するのは輸出(10-12%増)、投資(5-6%増)、消費(10-11%増)、政府支出(2-2.5%増)と予想している。

楽観的ではないシナリオでも、4-4.5%の成長となると予想される。

大型株で構成されるVN30指数は3.55%高の1,117.98ポイントで取引を終えた。

30銘柄の内の29銘柄は上昇し1銘柄のみが下落した。

ベティンバンク(CTG)、FPTコーポレーション(FPT)、ペトロベトナムガス(GAS)、マサングループ(MSN)、ベトコムバンク(VCB)、ビナミルク(VNM)、サイゴンビール(SAB)、VPバンク(VPB)、HDバンク(HDB)、テクコムバンク(TCB)などが上昇した。

ハノイ取引所ではHNX指数が3.84%高の223.62ポイントで取引を終えた。火曜日に3.12%上昇し215.36ポイントで取引を終えた。

出来高は1億3400万株で売買代金にして1.8兆ドンであった。

テト休暇を控えて資金流入は限られるため、指数は短期的に反発を続けるが銘柄によってまちまちの動きとなるだろうと BIDV 証券は述べた。

証券への投資比率は 50-70% の留めるべきである。現金比率の高い投資家は下落した時に押し目買いをするべきである。すでに投資比率の高い投資家は上昇した時には利益確定を進めるべきだと述べた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。